

春告草

第66号 平成29年6月21日 進路指導部発行

AO入試・公募制推薦入試に関する動向

東大の推薦入試、京大の特色入試、阪大の世界適塾入試など難関国立大でのAO入試、推薦入試が話題になっている。春告草52号でも書いたように今年度入試で推薦入試を実施した国公立大学は168大学で、これは全体の95%を占める。AO入試も79大学213学部で実施され、大学数では全体の47%にあたる(図1参照 データは文部科学省発表資料による)。来年度入試では、一橋大がこれまで商学部で行っていた推薦入試を全学部に拡大して実施する。このため、法学部、社会学部の後期募集は廃止され、法学部の前期枠も縮小される。この傾向は他の大学でも同様の傾向で、今やAO・推薦入試は国公立大学でも見過ごすことのできない入試である。

本校の状況は、AO入試、推薦入試を利用した国公立大進学者は5名(お茶の水女子大2、東京農工大2、首都大学東京1)となっている。第一志望校がAO、推薦入試を実施している基準に合致しているのであれば、検討してみても良いだろう。今回は、大学新聞第143号(大学新聞社)、学研・進学情報7月号(学研アソシエ)の記事をもとに、国公立大学のAO入試、推薦入試関連情報を提供してみたい。

志望理由の明確化が合格の鍵

大学新聞が全国の4年制大学763校を対象に行った「AO入試・公募制推薦入試に関するアンケート調査」の結果(回答数369校 回答率48.4%)によれば、AO入試で「選考に課しているもの」については、表1に示した通りである。「その他」には「適性試験」「資格証明」「体験授業の受講」「グループ討議」などが挙げられている。プレゼンテーション、作品・課題の提出なども含めて、志願者を多角的な視点で評価しようとする各大学の試みがうかがえる結果となった。推薦入試については表2に示したが、「その他」の項目では「読解力テスト」「集団討論」「英作文」「体育・スポーツ業績調書」「看護体験証明書」など、AO入試以上に多種多様な選考方法が挙げられている。

「面談・面接・口頭試問」はAO入試、推薦入試においてほとんどの大学で課されているが、AO入試で「特に重視するもの」(3つまで選択可)については、「志望理由書」が88%でトップだった。それ以外は図2に示す通りで、これを見ても選考のポイントは「志望理由と学習意欲」だろう。

一方、「不合格になった受験生の特性」については、「アドミッションポリシーの理解不足」「志願学部・学科への理解度不足」「志望動機が不十分」といった事前の準備不足や、「コミュニケーション能力の不足」など対話能力の低さを指摘する意見が挙げられている。

図1 選抜方法別募集人員(平成29年度入学者選抜)

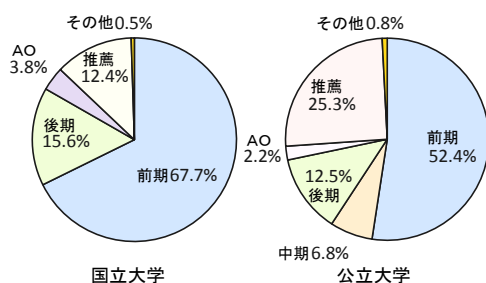


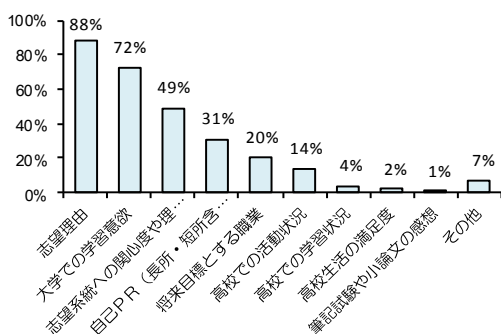
表1 AO入試における選考ポイント

面談・面接・口頭試問	99%
調査書(※)	95%
志望理由書・自己推薦書	87%
小論文・作文	61%
プレゼンテーション	55%
作品・課題の提出	54%
自己PR書	52%
その他	57%

表2 推薦入試における選考ポイント

調査書(※)	100%
面談・面接・口頭試問	93%
小論文・作文	75%
志望理由書・自己推薦書	74%
その他	33%

図2 AO入試の面談・面接で特に重視する項目



お茶の水女子大では今年度入試より新フンボルト入試を始めた。担当教授は実施後の総括の中で「高校生活の中で行ってきた活動や学習の成果、思考力、探究力、コミュニケーション能力といった、ペーパーテストでは測定することのできない側面についても評価できた。合格者のみなさんには、新AO一期生としていい意味で『尖った』才能を、入学後の学習のなかで大いに発揮してもらいたい。」と語っている。

東京農工大学も農学部環境資源学科ゼミナール入試の目的は「積極的に理科を志向し、かつ理科に適性を有した人材の発見」とし、「目の前で起こっている現象について仮説を立てながら理解し、自分の考えを人に伝え、結論を引き出すための適切な方法を見出せるなど、環境資源科学分野での研究、開発に必要な力を持っている」かどうかを見極めたいとしている。入学後の「伸びしろ」や「リーダーシップ性」を評価しているのだ。

AO入試、推薦入試は一般入試に比べて早く合否の結果が分かることが魅力だが、国公立大の推薦入試はセンター試験の成績で最終の合否が決定されるケースも多い。この為、早期に受験勉強を終えることを期待しての出願は止めた方が良い。むしろ、志望理由書作成などの準備にかける労力と時間は受験勉強を逼迫するものである。この辺の事情は先輩方もアドバイスしているので、今年度進路指針の大学受験体験記にある「推薦での受験を考えている人は熟考を」(P. 41)や「第一志望へ一途に」(P. 42)を読んでおこう。

※調査書…後期課程3年間における学業成績や出席状況などを記載した書類。大学入試などへ出願する際は必ず添付しなければいけない公式文書である。記載事項などについては、進路指針P. 34～35に説明があるので目を通しておこう。

小論文では何が問われるのか

既に見てきたようにAO・推薦入試では小論文・作文は必須の重要な評価基準である。入試小論文では現在の社会問題が題材となるケースが多いが、どのように問われるのかについて学研・進学情報でレポートされているので紹介しておく。

まず、AO・推薦入試における「問い方」の特徴である。一般的な小論文問題では社会問題などに関わる課題文・資料が与えられ、読解内容と意見が問われることがほとんどだ。裏面・表3に今年度入試における国公立大AO・推薦入試における小論文テーマの一部を掲載したが、示された社会問題に関する専門職としての解決策や抱負を問う問題が極めて多いことが分かる。(ただし、紙面の都合でテーマ型の出題や数式問題、英語課題文による問題は除外されている。また、テーマ課題についても、抜粋している。)これらを見ると、専門職として「どう考えるか」よりも「どうするか」が問われている。また地方大学に多いが、地域に即した課題克服策を尋ねる問題や、近年の政策課題で専攻分野が担う役割を書かせる問題も多い。

鍵になる分野の予備知識と「どうするか」の構想力が問われている。ジャンルごとの傾向を見て、「問い方」の傾向を知って小論文対策を立てていくことが大切である。

■情報分野 AI(人工知能 Artificial Intelligence)に関する出題が目立つ。学習能力が飛躍的に向上したAIがロボットや情報端末と連動してビジネスチャンスを生む反面、人間の雇用の相当部分を奪うという未来予測を受けて、複数の経済系学部ではAIの促進への影響を考えさせる問題を出題している。長崎大・経済学部では、雇用で影響を受ける人々を他の仕事にシフトさせるための労働市場や教育改革の必要性を説いた文章を読ませ、AI導入の可能性と問題点を考えさせている。教育分野でも宮城教育大・教育学部をはじめ、AIの台頭を前にして自分が教師としてどう生き残るかを考えさせる問題が複数出題されている。またAIの他、スマホやSNSを介したコミュニケーションを考えさせるテーマも見受けられる。岩手大学・人文社会学部などの出題例を参考に周辺知識の充実に努めていきたい。

■経済分野 格差・貧困問題が最近の傾向。福井県立大学・経済学部では、日本人の税負担への抵抗の強さは人々が格差是正に共鳴していない証だとする文章を読ませ、「自己責任」と「格差是正」のどちらに立つのかを論じさせた。本問では、以前のような格差構造の存在自体を否定する文脈で登場しているのではなく、存在を認識した上でもなお格差是正より優先すべき選択を考えさせている。格差・貧困の存在を知ってもなお、是正のための再分配を拒む論理の是非は、今後も注目される論点の一つである。これは、和歌山大学・教育学部の問題から分かるように、問題が表面化しやすい教育や福祉の関連学部で出題されやすい。また、「観光」や「シェアリングエコノミー」など、新たな需要を掘り起こす経済活動や発想、「女性活用」などを考えさせる問題も出ている。「どうするか」を論じる際、自分の志望分野を経済的に観る眼が不可欠であることを認識しておこう。

表3 2017年度国公立大学推薦・AO入試小論文の概要

大学名	学部名	学科・専攻課程	ジャンル	テーマ課題	出題形式
岩手大学	人文社会学部	—	情 報	スマホの限界や可能性をふまえて「他者と共に生きていく」ために大切なこと	課題文型
	教育学部	—	教 育	文系の知・学問は価値尺度の変化や多元性の中で有効という見方への意見	課題文型
宮城教育大学	教育学部	初等教育	情 報	AIを活用する教育の利点・欠点をふまえた上での教師のあり方	資 料 型
東京工業大学	物質理工学院	第2類	情 報	データ駆動型の研究開発手法「統合型材料開発システム」の課題と解決策	課題文型
新潟大学	理学部	自然環境科学	科学技術	誘因と素因の両面での防災や回復力の重要性をふまえた震災時被害軽減策	課題文型
	歯学部	歯学科	医 療	歯科医師における専門医とかかりつけ医の位置づけ、あるべき姿	課題文型
富山大学	経済学部	—	情 報	AIやITが労働者に不利に作用するという見通しの妥当性を考える	課題文型
岐阜大学	地域科学部	—	思想文化	未来のために現在が手段化し犠牲にされるという問題の解決に必要なこと	課題文型
	医学部	看護学科	思想文化	「心で聴く」重要性をふまえて考える、「聴くという行為の本質」「聴く力」	課題文型
滋賀大学	教育学部	初等教育・教育文化	情 報	AIと比較したひとの本質をふまえて考える、ひとがひとを教えるということ	課題文型
和歌山大学	教育学部	教員養成・理科系	経 済	所得とも関連する「放課後の格差」の現状について図表の読み取り	資 料 型
鳥取大学	地域学部	地域学科・人間形成	社会福祉	障害者施設殺傷事件から障がい者を締め出す社会の根本的な脆さを考える	課題文型
鳥根大学	人間科学部	—	社会福祉	人間関係・コミュニケーション関係からみた高齢者の健康の課題と対策	資 料 型
広島大学	歯学部	歯学科	社会福祉	障害者施設殺傷事件から全構成員を包む共同体たりえていない社会を考察	課題文型
香川大学	法学部	—	経 済	税金を支払った人の為に納税額に応じて使うべきだという考え方への賛否	課題文型
長崎大学	経済学部	—	情 報	雇用や教育の変化なども視野に入れて考えるAIやロボットの可能性と問題	課題文型
	教育学部	教員養成・中学技術	科学技術	資源有効活用の観点で点検・継続使用と効率的技術の新開発を比較	課題文型
鹿児島大学	農学部	農業生産科学科	環 境	生物多様性の点から考える、地球温暖化に適応した今後の農業のあり方	課題文型
岩手県立大学	総合政策学部	—	環 境	野生動物の過剰と棲み分け構造の破壊をふまえてライチョウ保護を考える	課題文型
福井県立大学	経済学部	—	経 済	税の役割を念頭に、自己責任と格差は正のどちらに立つかを論じる	課題文型
京都府立大学	公共政策学部	—	法・政治	ボランティア・セクターの活動の在り方から考える「参加型」民主主義	課題文型
兵庫県立大学	環境人間学部	—	医 療	成人期の健康維持を念頭に、10代の運動・スポーツをいかに実施するか	課題文型
県立広島大学	保健福祉学部	—	社会福祉	障害者差別解消法が定める障害者への合理的配慮の定着に必要なこと	課題文型
長崎県立大学	国際社会学部	国際社会学科	国 際	アジアの移民史から日本とアジア諸国との非対称性克服の可能性を探る	課題文型

■教育 教師としてどのような配慮を心がけるか、どのような授業を展開するのか等「どうするか」を論じさせるのが基本スタイルだ。また、文科系学部の再編が進んでいる昨今の状況の中で、学問や学びの意義を再考させる問題が散見される。岩手大学・教育学部では、「役に立たない」とみなされがちな文系の知が長期的に見ると既存の価値の相対比や新たな価値創造に「役に立つ」という主張を読ませ、受験生の考えを問うている。すぐに役立つことや知識の集積を目指す学問や学びだけでは何が問題なのか、明確にしておきたい。

■思想文化 現代社会では市場原理が力を持ち、あらゆるものが貨幣や近代的な時間（効率）で測定・評価されがちだ。それによる社会の歪みを人々が感じ始める中、市場原理の外側にある価値の意義を見直そうと問題提起されている。岐阜大学・地域科学部は、時間の均一化と私有化とが「未来による現代の支配」や「人間の商品化」の基盤となったという文章を読ませ、未来のために現在の生活を手段・犠牲にするという問題の克服に必要なことを考えさせている。他者との関係やコミュニケーションも常に出され続けているテーマで、医療・看護系や福祉系では重視される。「聴く力」とは何かを問うた岐阜大学・医学部の問題はその典型である。

■環境 このジャンルでは食・生物資源・環境に関わる各学部で、農林水産業を環境保全に資する形で持続させる方策を提案させる問題が多く出題されている。鹿児島大学・農学部が生物多様性の観点から温暖化に適応した今後の農業のあり方を考えさせた問題はその典型で、課題克服のために「どうするか」を問うた問題でもある。「生物多様性」に関連づけた出題は多く、従来からの地球温暖化に加え、今は生物多様性が環境保全を語るキーワードとして定着している。その他、「外来種」「野生鳥獣被害」に関わる問題も散見される。岩手県立大学・総合政策学部では、ライチョウ保護の話題に即し、誤った自然保護観による野生鳥獣の増えすぎや人との棲み分け構造の破壊を考えさせた。

■社会福祉 広島大学・歯学部や鳥取大学・地域学部は、昨年発生した障害者施設殺傷事件に関連づけた出題で、事件の背後にある社会の障害者への差別と排除に対する意見を書かせた。現在も再生産されている優生思想的な発想に目を向けさせる問題は今後も出題され続けるだろう。また、障害者差別解消法やその理念に目を向けた問題が注目できる。同法は障害者問題を社会の側に起因するものとみなす立場から、社会の側に合理的な配慮を求めているが、県立広島大学・保健福祉学部はそのために必要なことを受験生に問うた。このジャンルでは法制度の理念とその具体化の方策が問われやすく、法制度のチェックは重要ポイントである。

■医療 医療ジャンルでは、健康維持のための取り組みを考えさせる問題が目立つ。兵庫県立大学・環境人間学部では、成人期の健康維持を目指した10代の運動・スポーツの実施のあり方を問うた。他にも食や運動、睡眠などの改善策が健康維持の観点から各大学で問われており、これらの項目について何が取り組み課題となっているか、あらかじめ白書や政府HPなどであたっておく必要がある。また、医療システムの面では新潟大学・歯学部が「かかりつけ医」、名古屋大学・薬学部は「かかりつけ薬局」の位置づけを問うている。地域包括ケアシステムの中で各医療機関が果たす役割も正しく認識しておきたい。

■科学技術 このジャンルは各専門分野の知識・研究に特化した題材や試行実験的な問いが多く、類型化しにくい。その中で特徴を読み取るとすれば、取り上げた科学的現象やその研究を現実はどう利用するかを考えさせる問題が多いことだ。新潟大学・理学部では防災学の原理的な解説文を読ませ、その内容に即した地震防災を構想させた。教員養成系でも家庭・技術専攻の問題で科学技術と現実の関わりという視点が重視されやすく、製品の長期使用と新技術開発とを資源の有効活用面で比較検討させた長崎大学・教育学部の問題があった。

■国際 長崎県立大学・国際社会学部は、近代以降の日本と他のアジア諸国との非対称性を克服する芽を現代の域内での多様な階層の人的接触の増加の中に読み取らせている。受験生には非対称性を超えるとはどのような国際的な課題を意味するのかを考えさせており、そこでは観光を含めた経済関係や環境、防災などの連携などを想起することになるだろう。

■法・政治 京都府立大学・公共政策学部が、ボランティア・セクターの内発的な活動に象徴される参加型民主主義の重要性を考えさせた。議会制民主主義の機能不全が指摘される一方、テーマや地域ごとにボランティアネットワークや住民組織が公共性を担う社会的資源として重要になり始めている。防災や地域創造に関わる分野でもこうした社会的資源には注目が集まっており、それを民主主義の一つの回路という文脈でも理解しておくことは今後も重要になってくるはずだ。

オープンキャンパス申込み受付が始まる 千葉大では既に満員受付終了の学部も

いよいよオープンキャンパス申込み受付が始まる。各大学のHPをチェックしよう！



大学名	申込	日程その他
埼玉大 (7/9 受付開始)	○	教育 8/8 理、工 8/9 経済、教養 8/7 授業公開 DAY 教育学部 教養学部 7/17 (大学生と一緒に講義を受講)
埼玉県立大		6/11、8/5、6 事前申し込みは不要だが、受付票の提出要 事前に印刷記入の上提出
千葉大 (受付中 ×は受付終了)	○ ○ ○	西千葉 文 7/30、8/18、教育 7/29、理 8/5、×法政経 8/6、工 8/8、×国際教養 8/9 亥鼻 ×医 7/28、×薬 8/7、看護 8/9 松戸 園芸 8/5
東京大(6/12～)	○	事前登録制 ガイドブックを事前に印刷して持参 当日配付はなし 個別企画によってはWEB申込 本郷 8/2、8/3 10:00～
東京医科歯科大		7/27、7/28 9:00～ 参加票(HPよりDL)への事前記入が必要
東京外国語大	○	7/9 10:00～ 体験授業などは申込制 6/20～
東京学芸大学		7/22
東京農工大 (※1は6/1～受付) (※3、5は受付中)	○ ○ ○ ○ ○	※1 府中(環境 7/1)、(生物生産 7/8)、(地域生態 7/15)、(共同獣医 7/25)、(応用生物 7/29) ※2 府中(環境 8/4)、(応用生物 8/9)、(共同獣医 8/8)、(生物生産、地域生態 8/10) ※3 小金井 6/17 キャンパスツアー・キャンパス体験 当日受付も可 ※4 小金井(機械、物理、電気電子、情報 8/3)、(生命、応用分子、有機材料、化学 8/4) ※5 小金井(7/25 物理システム工学科体験教室)
東京工業大	○	大岡山 8/10 (一部企画で要事前予約 6/22 9時受付開始 ～7/6 締切 抽選)
東京海洋大	○ ○	品川 海洋資源環境学部 8/1 海洋生命科学部 8/2 (詳細は6月下旬発表) 越中島 海洋工学部 7/28 (同上)
お茶の水女子大		理学部 7/15、生活科学部 7/16、文教育学部 7/17
電気通信大	○	7/16 (事前予約が望ましい)
一橋大	○	7/30 (定員制・先着順 7/2 10時より受付開始)
横浜国立大	○	8/5、8/6 (7/1 事前登録開始)
首都大学東京		南大沢 全学部 7/16、8/19 日野 システムデザイン学部 7/29 荒川 健康福祉学部 8/8
横浜国立大	○ ○ ○	金沢八景 全学部 6/17、25 金沢八景 国際総合学部・理系 データサイエンス学部 8/8、国際総合学部・文系 データサイエンス学部 8/9 福浦 医学部 8/19 看護学部 8/26